年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（2学年用） 教科　　芸術　　科目 書道Ⅱ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　8 組

使用教科書：（『書Ⅱ』（ 光村図書 ）　　）

教科　芸術　　の目標：芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅱ　　の目標：書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	○漢字の書 【知識及び技能】 ・漢字の書を構成するさまざまな要素について理解できるようにする。 ・古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けるようにする。 ・変化や調和等による全体の構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。・日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導事項 ・書道Ⅰでの学習内容確認 ・書体の成立過程と歴史的背景 ・書体、書風の特徴の違いについて ・古典の字形と基本用筆 ・同じ書体による風趣の違いについて ・古典を生かした創作　（集字、倣書） ・協働活動により理解を深める（臨書、創作） ・生活の中における文字の活用（含硬筆）		○		○	【知識・技能】 ・「書道Ⅰ」での既習内容の理解の上で芸術科書道での学習の目的を理解している。 ・漢字の書を構成するさまざまな要素について理解している。 ・古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて歴史的背景と合わせて理解している。 ・古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 ・変化や調和等による全体の構成を生かした表現の技能を身に付けている。　・日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・今後の学習への関心･意欲を持つとともに主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	22
2学期	○仮名の書 【知識及び技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解するできるようにする。 ・古典の特徴と用筆･運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく効果的な表現を身に付けるようにする。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成についての技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	・継色紙 ・升色紙 ・寸松庵色紙 ・本阿弥切 ・古典の書風や表現の違い ・変体仮名とその効果 ・散らし書きの技法 ・古典を生かした創作			○	○	【知識・技能】 ・仮名の書を構成する様々な要素について理解している。 ・古典の特徴と用筆･運筆との関わりについて理解している。 ・古典に基づく効果的な表現を身に付けている。 ・墨継ぎや散らし書き等による全体の構成についての技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	○漢字の書（まとめ、篆刻） ※指導目標：１学期の漢字の書と同様	・五書体について理解し臨書作品制作に生かす（ｺﾝｸｰﾙ出品作品制作） ・篆刻作品の鑑賞 ・印の活用、　実践	○			○	※評価規準：１学期の漢字の書と同様	○	○	○	14

3学期	○漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解できるようにする。 ・名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けるようにする。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成についての技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫できるようにする。 ・現代に生きる創造的な表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	・構想 ・検字及び字形の工夫 ・構成による表現の工夫 ・用具・用材による表現の工夫 ・鑑賞 ・表装（掛け軸制作）			○	○	【知識・技能】 ・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・名筆や現代の様々な書の表現と用筆･運筆との関わりについて理解している。 ・目的や用途、意図に応じた効果的な表現を身に付けている。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成についての技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 ・現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
											合計 70